



2014年5月8日(木)

# 小栗キャップの News Letter

税理士法人オグリ 代表社員 小栗 悟

〒500-8847 岐阜県岐阜市金宝町 1-3 岐阜第一生命ビル 4F

TEL : 058-264-8858 FAX : 058-264-8708

Email: [info@otc-oguri.com](mailto:info@otc-oguri.com) <http://www.otc-oguri.com>

## ブレイクダウンの効用

“ブレイクダウン”とは、デジタル大辞泉によれば「分類すること、細かく分析すること、その他機械の故障など」の意味があると説明されていますが、ビジネスにおいて大変重要な意義と実用価値があり、目標管理制度でもしばしば活用されます。

### 目標管理におけるブレイクダウン

目標管理制度の運用を例にとって“ブレイクダウン”の持つ意義と実用価値について述べます。

目標管理では、目標の設定と目標達成計画(スケジュールリング)の二つの場面で“ブレイクダウン”の必要が生じます。

#### ① 目標のブレイクダウン

会社、部門の戦略や年度計画に基づいて、自部署の目標や個人目標を設定しようとする時、大きな目標を細分化(ブレイクダウン)して、順次小さな具体的な目標へ落とし込むことが必要になります。この「ブレイクダウン作業」を「カスケードダウン(段階的順次細分化)」とも言います。

その際、会社や部門の大きな目標を正確、かつ担当者の役割に合った大きさに切り分けることで、担当者にとって目標の意味が理解でき、自ら達成に取り組もうとする意欲が湧くレベルまでブレイク

クダウンすることが大切です。ここで“抜け、漏れ、ダブリ”が生じたりすると、始めから目標達成に赤信号がついたり、大きな無駄が生じてしまいますので、細心の注意が必要になります。

#### ② 目標達成計画におけるブレイクダウン

目標が明確になれば、次の手順として、その目標達成までの計画、スケジュールを“見える化”しなければなりません。

その場合、設定した目標に基づいて、その達成にはどのような作業が必要か、担当者が着手、処理することができる大きさまで具体的な作業へ“ブレイクダウン”することが必要になります。

### トップの留意点

トップは、管理者、社員を次のように指導すると、目標管理制度の運用の適正化と目標達成に役立つでしょう。

- (1) 目標のブレイクダウンは細心の注意を払い、正確に行なうとともに、“抜け、漏れ、ダブリ”を生じさせない。
- (2) 目標達成計画は、できるだけ具体的な作業にブレイクダウンし、分かり易く可視化(見える化)すること。



目標地点と  
道筋を明確に!